UNIT
12 두려움과 용기 : 恐れと勇気

아이스브레이킹 ウォームアップ

Q1 **子どものころ、何が一番怖かったですか。また、今でもそれが怖いですか。**

子どものころは暗闇が怖かったです。今は平気ですが、昔は一人で眠れませんでした。

어렸을 때는 어둠이 무서웠습니다. 지금은 괜찮지만, 예전에는 혼자 잠들지 못했습니다.

Q2 **大人になってから、新たに怖いと感じるようになったことはありますか。**
それは何ですか。

将来への不安です。大人になって責任が増え、失敗を恐れるようになりました。

미래에 대한 불안입니다. 어른이 되면서 책임이 늘어나 실패(실수)를 두려워하게 되었습니다.

토론 질문 ディスカッション

Q3 **周りの人と意見が違うとき、自分の考えをはっきり言えますか。**
それとも、言わないことが多いですか。それはなぜですか。

相手にどう思われるか不安で、つい黙ってしまいます。でも、勇気を出して話したいです。

상대방이 어떻게 생각할지 불안해서 저도 모르게 입을 다물게 됩니다. 하지만 용기를 내서 이야기하고 싶습니다.

Q4 **初対面の人が多い場所では、自分から話しかけられますか。**
それとも、相手から話しかけられるのを待ちますか。

最初は緊張しますが、気まずくならないように勇気を出して話しかけます。

처음에는 긴장하지만 어색해지지 않도록 용기를 내서 말을 겁니다.

Q5 **新しいことに挑戦するとき、誰かに相談しますか。**
それとも、一人で決めますか。 なぜですか。

友達に相談します。背中を押してもらうと、勇気が出るからです。

친구에게 상담합니다. 격려를 받으면 용기가 나기 때문입니다.

Q6 **大切な試験や発表の前に緊張したら、どうやって落ち着きますか。**

深呼吸をして気持ちを切り替えます。そして、自分ならできると考えます。

심호흡을 하며 마음을 가다듬습니다. 그리고 나도 할 수 있다고 생각합니다.

Q7 **自分にできるか自信がない仕事を頼まれたら、どうしますか。**
その理由も教えてください。

不安ですが、成長するチャンスなので、一歩踏み出して引き受けます。

불안하지만 성장할 기회이므로 용기를 내어(한 걸음 나아가) 맡겠습니다.

Q8 **勇気があることと無謀なことは、何が違うと思いますか。具体的な例を挙げてください。**

勇気は危険を考えて行動することです。準備せずに登山するのは無謀だと思います。

용기란 위험을 고려해서 행동하는 것입니다. 준비하지 않고 등산하는 것은 무모하다고 생각합니다.

© PALLO! All Rights Reserved.
본 교재의 무단 복제 및 배포를 금합니다.

UNIT 12

마약 범죄 의료인의 현장 복귀, 허용해야 할까?

1 本文

違法薬物に手を染め、処分を受ける医療従事者は後を絶たない。薬を扱う医療の現場は、薬物が身近にある場所でもある。一方で、多くの病院では人手不足が続いている。処分の後、治療を受けて薬物から足を洗い、もう一度白衣を着たいと望む人もいる。復帰を認めれば、経験を積んだ人材が戻り、多くの患者を救うかもしれないが、同じ過ちを繰り返し、患者の安全が脅かされるかもしれない。復帰を認めなければ、患者は不安なく治療を受けられるかもしれないが、居場所を失った人が、再び薬物に戻るかもしれない。薬物事件で処分を受けた医療従事者の現場復帰を、認めるべきか、それとも認めるべきではないか。あなたはどちらを支持しますか。

今日の表現

表現 手を染める (나쁜 일에) 손을 대다 / 処分 처분 / 足を洗う 손을 씻다, 발을 빼다 / 脅かされる 위협받다 / 居場所 있을 곳

2 二つの立場

〈立場 A〉 죗값을 치른 사람에게는 다시 시작할 기회가 필요하다.

- 刑期を終えた人を、罰し続けるべきではない。
- 復帰の道がなければ、過去を偽る医療者が増える。
- 医療者の育成は、時間と費用を注いだ社会の投資だ。
- 依存から回復した経験は、依存症の患者の治療に生かせる。

〈立場 B〉 약물로 처분받은 의료인은 복귀하게 하면 안 된다.

- 医療は、患者の信頼の上に成り立つ仕事だ。
- 患者は、担当の医師を選べないことが多い。
- 復帰を認めれば、同僚が監視の負担を負う。
- 託された責任を投げ出した人に、免許を戻すべきではない。

私の立場 ☐ 立場 A ☐ 立場 B ※中立は選べません

3 ディベート

1R 最初の主張

全員 1回。時計回り。理由は三つまで。

- [ ] 私は○○の立場です。理由は三つあります。まず〜、次に〜
- [ ] これは〜という前提に基づいています。

2R 指名して反論

全員1回。「○○さんに反論します」と言って反論を始める。終わったら隣の人に順番を渡す。

- [ ] たしかに〜ですが、それは〜を前提とした話ではありませんか。
- [ ] その主張は、〜という点を軽視しています。
- [ ] 実際には、〜する場合も少なくありません。
- [ ] そもそも「〜」の定義が違うのではありませんか。

3R 反論に答える

反論された人のみ。パスできない。

- [ ] その指摘は当たりません。なぜなら〜
- [ ] たしかにその点は認めます。ただ〜
- [ ] 今の反論は、私が言っていないことへの反論です。

4 ゆさぶり質問

多数派に先に使う。

1 — 立場 A と言った人へ

麻酔科医(ますいかい)が、手術(しゅじゅつ)で使う薬を持ち出して使用し、処分を受けたとします。
治療を終え、5年間使用はありません。それでも、同じ薬を毎日扱う麻酔科に戻ってよいと言えますか。

2 — 立場 A と言った人へ

ある医師が、勤務(きんむ)中に薬物を使った状態で患者の薬の量を間違え、
その患者に一生残る後遺症(こういしょう)が出たとします。医師は刑期を終え、今も治療を続けています。
それでも、「罪を償(つぐな)ったのだから」医療現場に戻ってよいと言えますか。

3 — 立場 B と言った人へ

地方の町で唯一(ゆいつ)の小児科医(しょうにかい)が、10年前に一度だけ薬物を使い、処分を受けていたとします。
復帰を認めなければ、町の子どもは車で1時間かけて隣の町に通(かよ)うことになります。
それでも、認めるべきではないと言えますか。

4 — 立場 B と言った人へ

ある医師が20年前の研修医時代に一度だけ薬物を使っていたことが、今になって発覚したとします。
この20年間、問題なく多くの手術をしてきました。
それでも、今すぐ現場から外すべきだと言えますか。

5 最終質問

- [ ] 立場 A　- [ ] 立場 B　- [ ] 変わった　- [ ] 変わらなかった

- [ ] 最初は〜と思っていましたが、○○さんの指摘で考えが変わりました。
- [ ] 立場は変わりませんでしたが、理由が変わりました。
- [ ] 今まで〜という点を考えていませんでした。

6 使える語彙

2Rの「その主張は〜という点を軽視しています」の〜に入れる材料です。

❶ 立場Aが使う語彙。

専門性(せんもんせい)	전문성
偏見(へんけん)	편견
人手不足(ひとでぶそく)	인력 부족
二重処罰(にじゅうしょばつ)	이중처벌
償う(つぐな)	속죄하다
立ち直り(たなお)	재기, 다시 일어섬

❷ 立場Bが使う語彙。

信用(しんよう)	신용
誘惑(ゆうわく)	유혹
医療事故(いりょうじこ)	의료사고
示し(しめ)	본보기
強制(きょうせい)	강제
国家資格(こっかしかく)	국가자격

1R メモ

自分の立場・理由三つ・根拠とした前提

2R メモ

誰に反論するか・相手が軽視した点・自分の反論